

2017 年度



そうなんだ…

いつでも・どこでも  
誰でも・学べばできる!



# 東京の性教育実践研究会

支援者や教員はもちろん当事者や保護者などの思いなど、多面的に性教育を考えていきたいと思っておりますので、ぜひご参加ください。  
私たちはオファーがあればどこへでも出かけていきます。気軽に声をかけてください。

第24回 4月22日(土)

13:30~16:00

☆場所：調布市文化会館たづくり 102号室

(042-441-6111・京王線調布駅下車広場口出口より徒歩4分)

☆講演：池谷壽夫さん(了徳寺大学教養部教員 社会福祉学博士)

「人間の脆弱性とセクシュアリティ」

哲学・教育哲学の視点からジェンダー・セクシュアリティと教育の問題、とくに男子問題に取り組んでいる池谷さん。津久井やまゆり事件に関しても「私たちは自己責任を負う自立した個人や強い個人なのだろうか。むしろ私たちは存在それ自体のうちに『脆弱性』を深く抱え込んだ『弱い存在』なのではないか」と問いかけます。池谷さんの視点で社会をとらえなおすと、緊張感がとれて安心感がうまれるように思います。私たちの考え方のねっこの部分を共有していきましょう。

主な著書：「セクシュアリティと性教育」(青木書店)・「こんなに違う！世界の性教育」(メディアファクトリー新書)・「男性問題から見る現代日本社会」(はるか書房、星雲社)など

第25回 5月20日(土)

13:30~16:00

☆場所：調布市文化会館たづくり

☆レポーター：下美紗都さん(障がい者福祉サービス事業所カレッジ早稲田)

「カレッジ早稲田で性と生を学ぶ青年たち」

“福祉型専攻科”“学びの作業所”と言われるカレッジ早稲田が2014年に開校、ヘルスケアという授業の一環として、下さんと一緒に、性教協の障害児者サークルの世話人が毎年10時間の授業を受け持ってきました。初めは「プライバシーだから」と表情も硬かった青年たちが、からだのこと、命のこと、障がいのこと、権利のことなどを学ぶ中で、自分や友達を見つめ、豊かに語りだす実践報告です。「学ぶ」ことの意味と実践を考えていきたいと思っております。

もっと  
知りたい!



主催：東京の性教育を進める会

後援：都教組障害児学級部・都障教組

連絡先：永野 佑子 (03-3930-5128)

永田三枝子 (090-5515-6949)